



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 明治機械株式会社

コード番号 6334 URL <http://www.meiji-kikai.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 河野 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 高工 弘

TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,256	△25.8	△63	—	△73	—	△108	—
25年3月期第2四半期	3,041	△40.3	41	△83.7	37	△84.0	21	△90.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △57百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△11.40	—
25年3月期第2四半期	2.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	4,737		1,332		28.1
25年3月期	5,234		1,394		26.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,332百万円 25年3月期 1,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,253	△13.8	73	△64.5	41	△69.7	1	△70.7	0.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,502,636 株	25年3月期	9,502,636 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	14,200 株	25年3月期	14,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,488,436 株	25年3月期2Q	9,488,436 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）における経済情勢は、政府による金融・財政政策に対する期待感から円安・株価上昇など回復の兆しがあり、これらによる個人消費の持ち直しや輸出関連企業を中心に業績改善、また、設備投資にも少し下げ止まり傾向が見られましたが、海外景気の下振れなどの景気下押しリスクもあり、依然として本格的な景気の回復には至っていない状況であります。

このような中、当社及び当社グループは、引続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、CS（顧客満足）を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストダウンならびに経費削減に取り組み、業績向上に鋭意努めてまいりました。

また、当期は、当社が新たに策定した「第3次中期経営計画」の初年度に当たり、この計画に基づく経営改善諸施策であります「アクションプラン」を迅速かつ着実に推進していくことにより、確実に利益創出をして黒字基調を堅持する企業体質、ならびに今般の企業不祥事に対応したコンプライアンス体制・コーポレート・ガバナンス体制の充実強化を含めた強固な経営基盤を構築していく所存であります。

このような状況下、当社グループの連結売上高は、受注価格競争激化による受注の伸び悩みや顧客の設備投資の先送りなどがあり、当社の小中規模プラントの工事進行基準による売上などがありましたが、2,256百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

また、損益面に関しましては、当社及び一部連結子会社の業績低下があり、営業損失63百万円（前年同四半期は営業利益41百万円）、経常損失73百万円（前年同四半期は経常利益37百万円）となり、特別損益の投資有価証券売却益や課徴金引当金繰入額を加減して、四半期純損失108百万円（前年同四半期は四半期純利益21百万円）となりました。

セグメント別の状況は下記のとおりであります。

〔産業機械関連事業〕

製粉業界は、本年4月には輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄の平均で9.7%の引上げがあったことから、製粉会社は業務用小麦粉の価格改定を行っております。販促活動に加え、小麦粉価格改定に伴う需要変動の影響もあり、国内業務用小麦粉の出荷は前年を上回り、また、副製品のふすまの価格も堅調に推移いたしました。大手製粉会社では生産・物流面での、生産性向上や固定費削減等のコスト削減に取り組んでおりますが、販売競争や消費者の低価格志向などもあり、引き続き厳しい事業環境下で推移した模様であります。

一方、飼料業界は、主原料のとうもろこし価格が、米国の作付け遅れや需給の引き締めから高値水準で推移しており、また、為替も円安に推移していることから、原材料価格は高止まりしております。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を値上げしましたが、原材料価格の上昇分全てを転嫁ず、依然厳しい事業環境にありました。

このような状況の中、売上高につきましては、牛用有葉飼料製造設備増設工事、ミルク・シフター設備設置工事、馬用飼料製造設備増設工事（工事進行基準適用）などの各種製粉・飼料設備工事のほか、その他の主力製品のローラー機、ピューリファイヤー、シフター、精選諸機械などに、連結子会社株式会社東京製粉機製作所の売上が加わり、売上高は2,232百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。損益面に関しましては、プラント工事ほかの予算管理の徹底、経費削減などに努めましたが、営業損失は82百万円（前年同四半期は営業利益24百万円）となりました。

〔不動産関連事業〕

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高23百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益19百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産に関する状況

i 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は4,737百万円となり、前連結会計年度末に比較して496百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が102百万円、売掛金が366百万円減少したことなどによるものであります。

ii 負債

当第2四半期連結会計期末の負債合計は3,404百万円となり、前連結会計年度末に比較して434百万円減少いたしました。これは主に、前受金が206百万円、課徴金引当金が82百万円増加したのに対し、支払手形が210百万円、短期借入金が158百万円、長期借入金が299百万円減少したことなどによるものであります。

iii 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,332百万円となり、前連結会計年度末に比較して61百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が49百万円増加したのに対し、利益剰余金が112百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

i 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は293百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失が101百万円となり、減価償却費22百万円、課徴金引当金繰入の増加額82百万円、売上債権の減少額371百万円、前受金の増加額206百万円となったのに対し、投資有価証券売却益49百万円、たな卸資産の増加額18百万円、仕入債務の減少額216百万円、法人税等の支払額26百万円などがあったためであります。

ii 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は51百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出11百万円、投資有価証券の売却に係る収入63百万円などがあったためであります。

iii 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は475百万円となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の純減少額が457百万円、社債の償還による支出10百万円などがあったためであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ113百万円減少し922百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成25年8月9日に公表いたしました通期業績予想を修正いたしました。

なお、当該業績予想の修正に関する詳細につきましては、本日公表の「平成26年3月期第2四半期（累計）業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

〈参考〉

業績予想数値（平成25年11月14日公表）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	5,253	73	41	1
個別	4,063	49	50	12

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,244,904	1,142,546
受取手形及び売掛金	1,058,958	692,552
商品及び製品	93,900	112,484
仕掛品	497,410	524,912
原材料及び貯蔵品	80,366	72,303
その他	83,960	35,050
貸倒引当金	△896	△449
流動資産合計	3,058,604	2,579,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	166,904	168,961
機械装置及び運搬具（純額）	58,363	54,073
土地	952,218	952,218
その他（純額）	42,991	43,000
有形固定資産合計	1,220,477	1,218,253
無形固定資産		
その他	46,576	48,166
無形固定資産合計	46,576	48,166
投資その他の資産		
投資有価証券	822,526	805,503
その他	148,159	148,367
貸倒引当金	△62,178	△61,978
投資その他の資産合計	908,507	891,892
固定資産合計	2,175,561	2,158,311
資産合計	5,234,165	4,737,712
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,404,194	1,193,222
短期借入金	781,333	622,689
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	23,887	18,990
前受金	7,915	214,793
賞与引当金	19,871	21,396
工事損失引当金	10,519	26,780
課徴金引当金	—	82,710
その他	179,093	127,758
流動負債合計	2,446,814	2,328,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
社債	70,000	60,000
長期借入金	868,875	569,818
退職給付引当金	175,929	176,805
資産除去債務	19,698	19,698
その他	258,220	250,183
固定負債合計	1,392,724	1,076,506
負債合計	3,839,539	3,404,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651,112	4,651,112
利益剰余金	△3,212,084	△3,324,920
自己株式	△8,941	△8,941
株主資本合計	1,430,086	1,317,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,044	△33,738
為替換算調整勘定	△415	49,354
その他の包括利益累計額合計	△35,460	15,616
純資産合計	1,394,626	1,332,867
負債純資産合計	5,234,165	4,737,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,041,510	2,256,015
売上原価	2,526,614	1,883,496
売上総利益	514,895	372,518
販売費及び一般管理費	473,102	436,139
営業利益又は営業損失(△)	41,793	△63,620
営業外収益		
受取利息	93	1,173
受取配当金	9,792	5,716
為替差益	2	—
負ののれん償却額	—	2,375
その他	8,414	14,643
営業外収益合計	18,303	23,907
営業外費用		
支払利息	18,573	15,985
持分法による投資損失	1,731	2,021
為替差損	—	1
その他	2,685	15,749
営業外費用合計	22,990	33,758
経常利益又は経常損失(△)	37,106	△73,470
特別利益		
固定資産売却益	3,487	—
投資有価証券売却益	—	49,689
子会社清算益	—	4,650
特別利益合計	3,487	54,340
特別損失		
固定資産除却損	900	—
投資有価証券評価損	8,021	—
課徴金引当金繰入額	—	82,710
特別損失合計	8,921	82,710
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	31,671	△101,840
法人税、住民税及び事業税	8,328	16,912
法人税等調整額	2,313	△10,568
法人税等合計	10,642	6,344
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	21,029	△108,185
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,029	△108,185

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	21,029	△108,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71,352	1,306
為替換算調整勘定	10,712	49,770
その他の包括利益合計	△60,640	51,076
四半期包括利益	△39,610	△57,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,610	△57,108
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	31,671	△101,840
減価償却費	42,036	22,577
のれん償却額	4,906	—
負ののれん償却額	—	△2,375
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	△647
課徴金引当金の増減額(△は減少)	—	82,710
受取利息及び受取配当金	△9,886	△6,889
支払利息	18,573	15,985
投資有価証券評価損	8,021	—
持分法による投資損益(△は益)	1,731	2,021
有形固定資産売却益	△3,487	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△49,689
子会社清算益	—	△4,650
売上債権の増減額(△は増加)	△56,896	371,779
たな卸資産の増減額(△は増加)	65,984	△18,980
前受金の増減額(△は減少)	△140,180	206,877
仕入債務の減少額	△174,913	△216,691
その他	△17,990	26,085
小計	△230,416	326,273
利息及び配当金の受取額	9,886	6,889
利息の支払額	△19,158	△16,714
法人税等の支払額	△12,837	△26,403
法人税等の還付額	100,802	3,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	△151,724	293,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,942	△11,315
有形固定資産の売却による収入	5,976	—
投資有価証券の売却による収入	—	63,038
その他	△4,628	△342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,594	51,379
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△67,100	△152,310
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△319,032	△305,391
リース債務の返済による支出	△4,264	△7,792
社債の発行による収入	95,699	—
社債の償還による支出	—	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	105,303	△475,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,404	16,413
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△48,611	△113,772
現金及び現金同等物の期首残高	1,664,266	1,036,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,615,655	922,686

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)
	産業機械 関連事業 (千円)	不動産 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,018,368	23,141	3,041,510	—	3,041,510
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	571	571	△571	—
計	3,018,368	23,713	3,042,081	△571	3,041,510
セグメント利益	24,146	17,646	41,793	—	41,793

(注) セグメントの利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)
	産業機械 関連事業 (千円)	不動産 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,232,927	23,087	2,256,015	—	2,256,015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	571	571	△571	—
計	2,232,927	23,659	2,256,586	△571	2,256,015
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△82,954	19,333	△63,620	—	△63,620

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。